

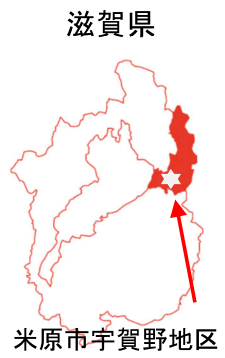
地域農業の在り方等を踏まえた市町村支援計画等の概要

【地区の概要】

- 米・麦・大豆による水田農業が盛んな平地農業地域
- 高齢化に伴い、担い手への農地集積は進んでいるものの、より効率的な農業経営を目指し、今後集約化を進めていく必要がある地区

【支援内容・背景】

- 水稻および麦・大豆栽培を中心とした作付けを行う地域の中心となる経営体に対し、農地のさらなる集積・集約化を図ることにより、経営規模の拡大と生産性の向上を支援することが必要。
- 助成対象者は地区内の中心となる経営体であり、経営規模のさらなる拡大を志向している。このため、地区における、さらなる農地の集積と集約化を進めるため、助成対象者の生産性の向上を支援。



助成対象者「株式会社M」の経営の状況と事業内容

【経営の経緯】

- 平成30年 設立・経営開始
- 平成30年 農業経営改善計画認定

《事業活用の背景》

- 助成対象者が、農地中間管理機構を通じた農地の集積・集約を進め、経営規模の拡大を図るため、さらなる生産性の向上が必要。
- 生産性向上に向け、作業効率化に資するGPS機能付きの高性能機械を導入。

【事業実施時の状況】
〈R3年度〉

- 売上高 50百万円
- 作付作物 水稻、麦、大豆
- 経営面積 51.0ha

《事業による整備内容》

- 田植機 1台
- 事業費 4,660千円(国費 1,270千円)



【現在の経営状況】
〈R6年度〉

- 売上高 77百万円 (154%)
- 作付作物 水稻、麦、大豆
- 経営面積 66.0ha (129%)

事業の
効果

《対象者》 農作業の効率化による生産性の向上により、農作物の価値向上、売上高の増加と経営面積の拡大を実現。

《地区》 担い手への農地のさらなる集積および集約化が図られたことにより、地域の担い手が育成され経営規模の拡大が実現、地域農業の維持に貢献。